

雜 報

◎人 事

東京帝國大學教授 島 園 順 次 郎
東京帝國大學醫學部附屬醫院長職務俸金六百
拾圓下賜

東京帝國大學教授 島 園 順 次 郎
賜本俸二級俸 (十二月十八日)

從五位勳三等 尾 崎 文 七 郎

從五位 庄 司 義 治

敘正五位 (十二月十六日)

九州帝國大學教授 赤 岩 八 郎
賜本俸二級俸

九州帝國大學教授 皆 見 省 吾
賜本俸五級俸 (十二月二十日)

鐵道醫 小 栗 三 式
鐵道醫ニ任ス (十二月二十四日)

鐵道醫 福 屋 鏡
年俸參千六百六拾圓下賜 (十二月二十四日)

鐵道醫 小 栗 三 式
年俸貳千六百六拾圓下賜

大阪鐵道病院耳鼻咽喉科醫員ヲ命ス
(十二月二十四日)

敘正六位 從六位勳六等 大 岩 博 雅
(十二月二十八日)

○渡邊眞澄君 は豫て本縣和氣郡日生町々立日生病院長として勤務し居られしが今般別項の黒瀬巖君の後任として庄原病院長に就任せられたり
○石原忠之君 は豫て岡山醫科大學衛生學教室及稻田内科教室に於て研究中なりし同君は別項の渡邊眞澄君の後任として日生病院長に就任せられたり

○淺田順一君 多年傳染病研究所に於て研究中なりし同君は昨冬滿洲國新京興安大路滿洲國衛生技術廠に轉任せられたり

○竹内守之輔君 は豫て今治市警察署に勤務し居られしが今般愛媛縣警察部衛生課に轉勤せられたり

○黒瀬巖君 は豫て廣島縣比婆郡庄原町庄原病院に勤務し居られしが今般同院を辭し神戸市須磨區須磨寺町2丁目に於て開業せられたり

○國正薫君 は豫て岡山醫科大學藥理學教室に於て研究中なりしが今般辭職の上廣島縣賀茂郡廣村に於て開業せられたり

○松尾潔君 は豫て岡山醫科大學生理學教室に於て研究中なりしが今回同教室を辭し明石市上水道町に於て開業せられたり

◎學位授與

小坂壽, 中富和夫, 藤河武雄, 水野文次郎の4君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが本月2日の教授會を通過し本月23日醫學博士の學位を授與せられたり其の主論文及び參考論文は左の如し.

小 坂 壽 君

主 論 文

「モノヨード」酸ノ筋機能ニ及ボス作用

1. 「モノヨード」醋酸蛙骨筋機能ニ及ボス作用 (岡山醫科大學歐文業府第4卷第4號ニ發表ス)

2. 「モノヨード」醋酸ノ心筋ニ對スル作用 (岡山醫科大學歐文業府第4卷第3號ニ發表ス)

參考論文

1. 電流通過區間ノ長短ガ神經纖維ノ興奮性ニ及ボス影響 (本誌第 45 年第 6 號ニ發表ス)
2. 興奮性ト夫レヲ支配スル物理化學的條件 (本誌第 47 年第 2 號ニ發表ス)
3. 夏期蛙筋ノ特異性ニ就テ (本誌第 47 年第 3 號ニ發表ス)
4. 冬眠中ノ蝙蝠ノ瓦斯代謝ニ及ボス環境溫度ノ影響ニ就テ (本誌第 47 年第 4 號ニ發表ス)
5. 細胞分裂促進線ニ關スル研究 (岡山醫科大學歐文業府第 4 卷第 4 號ニ發表ス)
6. 神經切斷後ノ筋「クロナキシー」ニ就テ (岡山醫科大學歐文業府第 4 卷第 4 號ニ發表ス)
7. 「モノヨード」醋酸中毒筋ノ溫熱發生ニ就テ (林香苗共著) (岡山醫科大學歐文業府第 4 卷第 4 號ニ發表ス)

中 富 和 夫 君

主 論 文

甲蟹ノ「ヘモチアニン」ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. 過敏症毒ニ關スル研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
2. 網膜周邊部ノ暗適應及ビ色線(Buntes licht)ニ對スル暗適應 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
3. 伸展セル神經及ビ筋ノ「クロナキシー」ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
4. 神經ノ逆主宰ニ關スル研究補遺 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
5. 高周波電流ノ刺戟效果ト鑽石檢波器ノ生理學實驗ヘノ應用價值 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

藤 河 武 雄 君

主 論 文

甲狀腺ト脾臟ノ相互關係ニ關スル 2, 3 ノ實驗的研究

1. 幼若赤血球殊ニ網狀赤血球及ビ赤血球沈降速度ニ關スル甲狀腺ト脾臟ノ相互關係 (本誌第 47 年第 5 號ニ發表ス)
2. 瀉血貧血恢復ニ關スル甲狀腺及ビ脾臟ノ相互關係 (本誌第 47 年第 5 號ニ發表ス)
3. 異種赤血球ノ運命ニ關スル甲狀腺及ビ脾臟ノ相互關係 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
4. 2, 3 麻醉劑ノ毒性ニ關スル甲狀腺及ビ脾臟ノ相互關係 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
5. 甲狀腺及ビ脾ノ相互關係ニ關スル組織學的研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. 超生體可染物質保有赤血球ノ血液「カタラーゼ」ニ關スル研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
2. 結核性疾患ノ脾臟食投與期間ニ就テ (大坂醫事新誌第 3 卷第 9 號ニ發表ス)
3. 「トロトラスト」ニ依ル血管撮影ニ就テ (東京醫事新誌第 2864 號ニ發表ス)
4. 瓦斯蜂窩織炎ノ症例ニ就テ
附. 過酸化水素ノ效果 (實地醫家ト臨牀第 12 卷第 8 號ニ發表ス)
5. 坐骨神經ヨリ發生セル肉腫ノ 1 例 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

水 野 文 次 郎 君

主 論 文

日本人胎兒喉頭ノ形態學的發生並ニ其ノ組織學的研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. 鳥類脊索ノ形態學的發生並ニ其ノ組織學的研究

- イ. 第 1 報 家鴨ニ於ケル觀察 (本誌第 47 年第 5 號ニ發表ス)
- ロ. 第 2 報 家鳩ニ於ケル觀察 (本誌第 47 年第 6 號ニ發表セリ)
- ハ. 第 3 報 十姉妹ニ於ケル觀察 (本誌第 47 年第 9 號ニ發表ス)
2. 極メテ頑固ナル出血性多形滲出性紅斑ノ 1 例 (診療鈔報第 6 卷第 57, 58 號ニ發表セリ)
3. 日本人壯丁年齢ニ於ケル外鼻形態ニ關スル統計的觀察
鼻脊彎曲ニ基ク鼻形態的分類補遺 (軍醫團雜誌第 197 號ニ發表ス)
1. 鼻咽腔纖維腫完全剔出ノ 1 例 (軍醫團雜誌第 218 號ニ發表ス)
5. 歩兵銃腔手入用柵杖ヲ以テセル頸部貫通銃創(自殺未遂)並ニ同用洗矢ニ依ル頭蓋底骨折(外傷不慮)ノ各 1 例 (軍醫團雜誌第 239 號ニ發表ス)
6. Hirschsprung'sche Krankheit ノ 5 例 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
7. 日本人壯丁年齢ニ於ケル外鼻形態ニ關スル統計的觀察, 殊ニ鼻脊彎曲ニ基ク鼻形態的分類補遺 第 2 報 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

~~~~~

◎役員選舉

昭和 11 年度の本會役員投票用紙は昨年 12 月號雜誌に纏込みあるを以て同紙を用ひて本年 2 月 6 日正午までに本會に到着する様投票せられたし